

豊肥保健所(竹田市・豊後大野市)感染症情報

令和2年第38週(9月14日～9月20日)

第38週で報告があった感染症は、ヘルパンギーナだけでした。
 ・ヘルパンギーナの定点当たり患者報告数は0.33人で、先週(1.33人)より減少しました。



●新型コロナウイルス感染症(COVID-19)について

大分県ではこれまで158例の患者が報告されています(9/24AM現在)。感染拡大防止のため、こまめな手洗いや手指消毒、マスクの着用などの咳エチケット、「3つの密」が重なる場面を避けるなど、「新しい生活様式」の実践を徹底してください。また、発熱や風邪症状があるときは、無理をせずに会社や学校を休み、外出を控えましょう。

※新型コロナウイルスに関するお知らせ(大分県HP) → <https://www.pref.oita.jp/site/covid19-oita/>

★新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)をインストールしましょう★

COCOAは、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について通知を受け取ることができるスマートフォンアプリです。過去14日間に、感染者と1m以内で15分以上の接触をした可能性がある場合に、COCOAに通知が送付されます。このアプリは、利用が増えるほど感染拡大を抑える効果が高くなると言われています。自分や大切な人を守るために、COCOAを利用しましょう。

●ヘルパンギーナに注意しましょう。

潜伏期間は2～4日程度で、主な症状は発熱、咽頭痛、口腔内の小水疱などです。また、回復後も、長い方で4週間程度は便と一緒にウイルスが排出されることがありますので、便の取り扱いには注意が必要です。予防法としては、患者との濃厚接触を避けること、石けんと流水を用いて十分に手を洗うことが重要です。

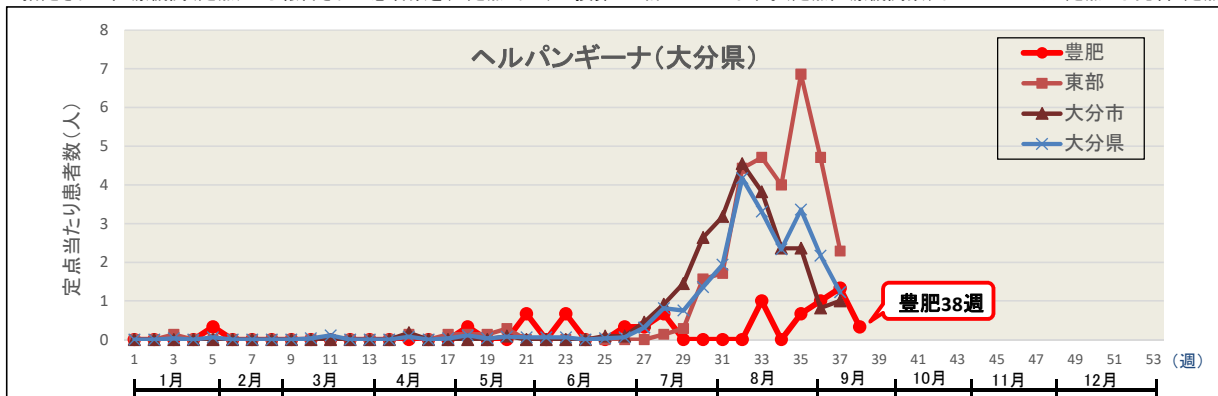
●インフルエンザワクチンについて

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、今年はインフルエンザワクチンの需要が高まる可能性があります。65歳以上の方(定期接種対象者)や基礎疾患を有する方などは早めにワクチン接種の検討をお願いいたします。

(第38週)

疾患名 年齢	インフルエンザ			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	咽頭炎 A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明															
0歳																		
1～3歳												0.33						
4～6歳																		
7～9歳																		
10～14歳																		
15～19歳																		
20歳以上																		
今週												0.33						
70歳以上(再掲)																		
先週						0.33	1.33				0.33	1.33						

*指定された医療機関(定点)から報告された患者数を、1定点あたりに換算して計上しています。(定点医療機関数:インフルエンザ5定点 小児科3定点)



お問い合わせ:大分県豊肥保健所 電話(0974)22-0162